



えがお いっぱい

令和 7 年 6 月 26 日
富士市立富士南小学校
学校だより 7 月号

小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重点目標 「やってみよう！」

6月・7月の生活目標 「自分や友達のよさを見つけよう」

7月は、「文月」(ふみつき・ふみづき)とも言われます。諸説あるようですが、旧暦7月は、今で言うと7月下旬～9月上旬くらいで、この時期は稲が生長し、背丈も大きくなっていきます。そこから、稲がよく見える月、また、穂が膨らむ季節であることから、「穂ふふみ月(「ふふむ」は古語で含むや膨らむの意)→「穂含月(ほふみ月)」→「ふみ月」になったという説もあるようです。学習面、生活面で、子供たちに稲穂のようにぐん！と成長する姿が見られる「ふみ月」にしたいと考えております。保護者の皆様のお力添えをお願いいたします。



◇6月の朝礼にて◇

3年生が、6月・7月の生活目標を全校のみんなに伝えました。

言葉の意味に合わせて、実行委員が考えた寸劇を織り交ぜながら発表し、低学年にも分かるように工夫していました。実行委員と代表の子供たちが、自信をもって大きな声で呼び掛けている姿が頼もしかったです。

「6月・7月の生活目標は、『自分や友達のよさを見つけよう』です。」

「友達や自分のよさを見つけてもらうために、みなさんに意識してほしいことを考えました。」

「それを伝えるので、聞いてください。」

○「友達の動きをよく見よう！」(4組担当)

— バケツの水をこぼしてしまった友達にかけ寄ってやさしく声を掛け、手伝う寸劇 —

「友達の動きをよく見ていると、仲間のよい動きに気づくよ！」

○「友達と話したり、遊んだりして、仲よくなろう。」(1組担当)

— 「一緒に遊ぼう！」って声を掛け、楽しく遊び、その子のよさが、よりはっきりした寸劇 —

「仲よくなれば、仲間のよいところが、はっきり分かるよ！」

○「友達のよいところを見つけて、ほめよう。」(3組担当)

— 登校中に1年生が転んでしまい、やさしく声を掛けて助けた友達を南レターで紹介する寸劇 —

「ほめられた人はうれしくなって、よいところを、もっと出そうとしてくれるよ！」

○「自分から、よいことをして、仲間に自分のよいところを広めよう。」(2組担当)

— 分担場所の掃除が終わり、進んで他を手伝っている友達のよさを認め、自分も手伝おうとする寸劇 —

「よいことをすれば、仲間がまねをしてくれて、よいことが広がっていくよ！」

「自分のよさが、みんなに伝わるよ！」

「みなさん、4つのことを意識しながら、自分や友達のよさを、
どんどん見つけていきましょう。」

「南小に、よいことを広げていきましょう。」

「気をつけ、れい。」



◇前期末の個人面談と前期あらわれの所見について◇

前期末(9月下旬から10月上旬)に個人面談を実施いたします。お子さんの学習状況が分かる資料を通して、前期のあらわれと今後の取組や伸ばしたい力について保護者様と共有することを目的とした面談といたします。ついては、学校運営協議会でも承認をいただいております。面談した内容を前期あらわれの所見に代えさせていただくことを御了承ください。